

野菜の需給・価格動向レポート(平成22年7月5日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	6月の価格動向				生育及び価格の7月の見通し			
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額						
		上旬	中旬	下旬				
葉 茎 菜	キャベツ	67.2	92	65	53	・入荷見込量: 9,218t (99) ・主産地: 群馬(66)、岩手(17)、茨城(6)	・群馬産は、4月の低温で生育遅れていたが、準高冷地、高冷地ともに6月下旬より本格的な出荷を開始。準高冷地の出荷のピークは7月中旬の見込み。 ・入荷量の急増により7月中旬より下旬にかけて、価格は平年を下回って推移する見込み。	
		81.66	105	87	66	・入荷見込量: 3,800t (104) ・主産地: 群馬(39)、長野(38) 大分(7)、熊本(6)、福岡(6)		
	ねぎ (関東: 白ねぎ。 関西: 青ねぎ)	264.1	393	332	311	・入荷見込数量: 4,133t (100) ・主産地: 茨城(65)、千葉(14)、埼玉(7)、輸入(6)	・生育が遅れていた茨城産・千葉産ともに本格的に出荷され、平年並みの作柄、出荷となる見込み。 ・価格は落ち着いてくるが、平年より高めに推移する見込み。	
		334.73	393	373	307	・入荷見込数量: 230t (79) ・主産地: 香川(28)、徳島(25)、大阪(14)、三重(10)、高知(8)		
	はくさい	67.1	65	61	48	・入荷見込量: 5,765t (100) ・主産地: 長野(82)	・長野産は、低温の影響から、1週間程度遅れていたが、回復してきており、7月上旬より高冷地の出荷が本格的になる。 ・茨城産が切り上がり、価格は、平年並み。	
		82.1	88	75	50	・入荷見込量: 2,400t (110) ・主産地: 長野(96)		
	ほうれんそう	376.1	447	399	404	・入荷見込量: 1,226t (98) ・主産地: 茨城(24)、栃木(22)、群馬(21)、岩手(18)	・茨城産の生育は順調で、出荷量は前年よりやや上回る見込み。栃木産は、低温による播種遅れの影響で7~10日程度遅れているが、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・価格は、平年よりやや低めに推移する見込み。	
		396.89	516	473	486	・入荷見込量: 400t (95) ・主産地: 岐阜(81)、北海道(9)、奈良(6)		
	レタス	126.45	176	105	78	・入荷見込量: 9,191t (102) ・主産地: 長野(78)、群馬(16)	・長野産は、天候不順の影響により出荷が遅れていたが、天候回復と気温上昇、適度な雨量のため、作柄が回復し現状は前年を上回る順調な出荷となっている。準高冷地ものは減少に向かうが、6月末~7月上旬にかけて高冷地のもものがまとまって出荷となる。 ・価格は、長野産の潤沢な出荷のため、平年を下回って推移する見込み。	
		132.22	202	120	76	・入荷見込量: 1,850t (100) ・主産地: 長野(96)		
	たまねぎ	71.02	88	87	91	・入荷見込量: 8,910t (100) ・主産地: 佐賀(41)、兵庫(28)、香川(5)、輸入(5)	・佐賀産は、順調な出荷であるが小玉傾向で、不作だった前年並みで平年には届かない。兵庫産は、7月~8月が本格的な出荷となるが、生育期の天候不順の影響で平年より少なめ。 ・北海道産が出回る8月までは、平年並かやや高めで推移する見込み。	
		71.02	97	94	100	・入荷見込量: 3,400t (94) ・主産地: 兵庫(91)		
果 菜	きゅうり	189.84	249	165	214	・入荷見込量: 7,778t (100) ・主産地: 福島(42)、岩手(17)、秋田(10)、宮城(5)、埼玉(3)	・福島産は、主力の露地ものが低温により定植作業が遅れたため、7~10日程度遅れ、本格的な出荷は7月始めで、ピークは7月末~8月上旬になる見込み。岩手産は、現在はハウスものを中心だが、平年より1週間程度遅れている。 ・価格は、東北産が遅れていることからやや高めで推移しているが、今後は順調な出荷が見込まれ平年並みで推移する見込み。	
		177.22	237	171	230	・入荷見込量: 1,750t (94) ・主産地: 福島(43)、愛媛(19)、北海道(11)、香川(7)		
	トマト	209.59	348	255	225	・入荷見込量: 8,254t (100) ・主産地: 青森(17)、茨城(11) 福島(11)、栃木(10)、千葉(9)、岩手(8)、群馬(7)、秋田(6)	・青森産は、4月下旬の定植が平年より遅れたことから、1週間程度遅れており、7月始めから出荷開始の見込み。茨城産、千葉産は、概ね順調な出荷が見込まれる。栃木産の促成ものは、7月上旬で終了。 ・関東産の安定した出荷と、青森産の出荷の本格化により、平年並みで推移する見込み。	
		228.53	332	267	271	・入荷見込量: 1,700t (104) ・主産地: 北海道(24)、岐阜(15)、愛知(9)、石川(7)、岡山(7)、愛媛(7)、熊本(7)		
	なす	297.07	348	338	344	・入荷見込量: 4,877t (98) ・主産地: 茨城(26)、栃木(25)、群馬(24)、埼玉(8)	・茨城産は、低温の影響により、生育が10日~2週間程度遅れている。6月の末から出荷が増加し、7月の始めにピークがくる見込み。栃木産は無加温の夏秋ものの定植が遅れたが、活着後の生育は順調で平年並みの出荷が見込まれる。 ・関東産の入荷が遅れていることから、価格は平年より高めで推移する予定。	
		285.27	299	307	315	・入荷見込量: 1,100t (91) ・主産地: 徳島(25)、奈良(18)、大阪(18)、山梨(8)、京都(8)、愛媛(7)		
	ピーマン	251.5	422	356	242	・入荷見込量: 2,058 (98) ・主産地: 茨城(65)、岩手(23)	・茨城産の出荷は、今がピークで今月で切り上がるため、中下旬にかけて出荷量が減少する。岩手産は、5月の天候不順により、ハウスものについては1週間程度遅れ、今後は露地ものもでてくるが、前年の出荷量には届かない見込み。 ・価格は、平年並みか高めで推移する見込み。	
		253.95	320	385	323	・入荷見込量: 390 (106) ・主産地: 兵庫(16)、宮崎(13)、大分(12)、北海道(11)、愛媛(10)、福島(10)、和歌山(10)		
	根 菜	だいこん	91.2	85	72	62	・入荷見込量: 9,218t (100) ・主産地: 青森(50)、北海道(50)	・青森産は、1週間程度の遅れがあったが、天候回復により回復し順調な出荷が見込まれる。北海道産は、播種が遅れその後の生育も遅れていることから、平年より出荷が5日~1週間程度遅れ、7/10頃に出荷のピークがくる見込み。 ・価格は、青森産の入荷量が安定、後半からは北海道産が急増することから、平年より低めで推移する見込み。
			104.7	83	79	73	・入荷見込量: 2,800t (90) ・主産地: 北海道(58)、岐阜(12)、青森(10)、宮城(7)	
		にんじん	133.01	162	140	141	・入荷見込量: 5,781t (98) ・主産地: 青森(51)、千葉(23)、北海道(21)、輸入(3)	・千葉産は4月の低温・日照不足の影響から生育が遅れ、出荷量は、前年を下回る。青森産は、面積の減少と低温・日照不足により1週間~10日程度の遅れで、減収の見込み。北海道産は、4~5月の天候不順の影響で播種作業が遅れ、平年より7~10日程度遅れで7月末からの出荷開始となる見込み。 ・価格は、青森、北海道が遅れていること等から、平年よりやや高めで推移する見込み。
	139.6		126	138	147	・入荷見込量: 1,850t (89) ・主産地: 青森(55)、北海道(22)、和歌山(8)		

種類	6月の価格動向				生育及び価格の7月の見通し
	(参考) 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格 (保証基準額の算定の基となる平均価格)				
	上旬	中旬	下旬		
いと	344	418	395	322	・入荷見込量: 303t ・主産地: 宮崎 (50)、鹿児島 (21)、輸入 (18)
	347.9	500	489	386	・入荷見込量: 93t ・主産地: 宮崎 (39)、鹿児島 (35)、輸入 (13)
も	131.8	199	186	177	・入荷見込量: 4,953t (100) ・主産地: 茨城 (30)、千葉 (22)、静岡 (16)、長崎 (6)
	131.8	213	183	191	・入荷見込量: 2,700t (94) ・主産地: 北海道 (28)、千葉 (23)、茨城 (12)、長崎 (11)、静岡 (9)

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。さといもは、前年実績。
2) 旬別平均販売価格の背景なしは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
3) 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック 3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

2 野菜の需要動向

1 生鮮野菜の購入量及び金額		2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移						
(1人当たりの購入量、金額)		(単位: 円/kg)						
年	過去5年平均	平成21年	平成22年					
月	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比	金額(円)	前年比
1月	4,130	1,521	4,277	1,548	4,240	99	1,551	100
2月	4,325	1,548	4,536	1,529	4,461	98	1,574	103
3月	4,675	1,690	4,799	1,685	4,970	104	1,768	105
4月	4,758	1,783	4,783	1,805	4,518	94	1,804	100
5月	5,127	1,884	5,216	1,918	4,888	94	1,942	101
6月	5,042	1,856	5,180	1,888				
7月	4,471	1,668	4,645	1,648				
8月	4,330	1,703	4,321	1,752				
9月	4,913	1,783	5,141	1,828				
10月	5,382	1,807	5,691	1,767				
11月	5,024	1,569	5,307	1,560				
12月	5,185	1,797	5,213	1,751				

3 野菜の輸入動向

野菜等の輸入数量の推移について		主な野菜の輸入動向				
(単位: トン、%)		(単位: トン、%)				
区分	平成20年	平成21年	平成22年1月~5月			
	前年比	前年比	前年同期比			
生鮮野菜	602,733	84	615,271	102	355,723	126
加工野菜	1,660,663	93	1,569,627	95	670,519	106
野菜輸入量合計	2,263,395	90	2,184,898	97	1,026,243	112
うち中国産野菜合計	1,150,352	81	1,098,415	95	482,314	115
中国産シェア	51		50		47	

4 トピック

3か月予報 平均気温		昨年の気象状況			
7~9月予報		たまねぎの主産地(北見市)の平均気温と降水量の推移			
7月	8月	9月	7月	8月	
低:並:高	低:並:高	低:並:高	低:並:高	低:並:高	
北日本(北海道・東北)	20:40:40	40:40:20	20:30:50	50:30:20	40:40:20
東日本(関東甲信・東海・北陸)	20:40:40	30:30:40	20:30:50	40:30:30	30:30:40
西日本(近畿・中四国・九州)	20:40:40	20:40:40	20:30:50	40:30:30	20:40:40

【大規模生産者・法人の皆様への窓口を開設しました! (直接契約課)】

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、太田、三部 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484